

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

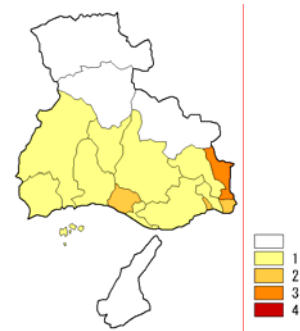
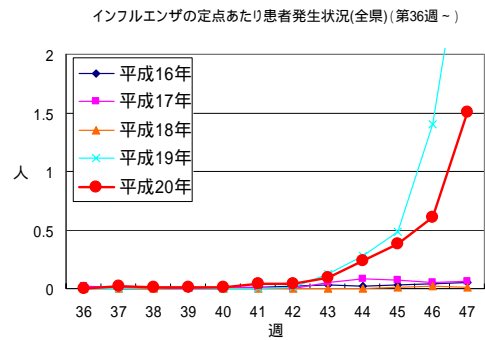
### インフルエンザ情報

インフルエンザの定点あたり患者数は **1.51 人**となり、流行の目安となる 1.00 人を超えました。昨年よりは 1 週遅いものの、例年よりは **1 か月以上早い流行期入り**となりました。地域的には伊丹保健所管内の定点あたり患者数が注意報基準である 10.00 人を超える 11.33 人となりました。全国的には 46 週現在、大阪府と山梨県が注意報レベルを超えました。

学級閉鎖等の累計数は 11 月 15 日現在、全国では 42 施設で欠席者数 519 人、県内では 15 施設、168 人となっています。

インフルエンザウイルスの検出は、全国では A/H1(A ソ連)型 14 件、A/H3(A 香港)型 27 件、B 型 32 件となっていて、3 つの型が入り混じっています。県内では神戸市で A/H1(A ソ連)型 1 件、A/H3(A 香港)型 5 件、B 型(ビクトリア系統)2 件、尼崎市で B 型(ビクトリア系統)1 件が検出されています。

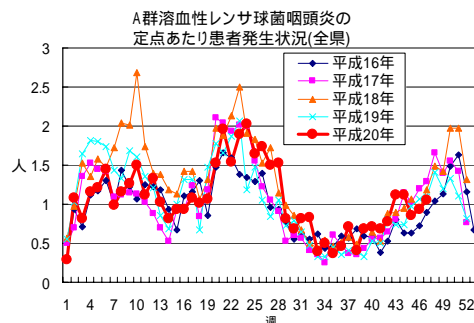
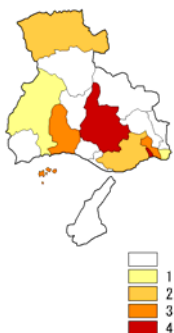
インフルエンザは流行が始まると急速に患者数が増加することから、今後の動向に注意が必要です。



### 定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

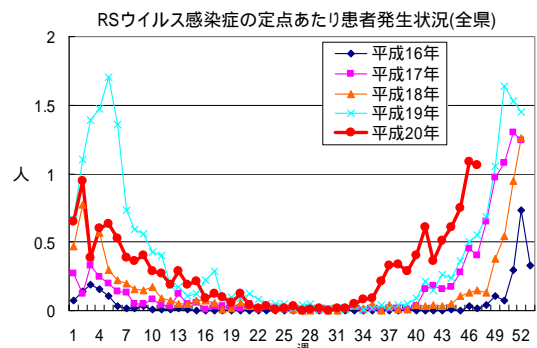
#### A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2 週連続で報告数は増加しました。秋から冬にかけて増加する感染症であり、今後の動向に注意が必要です。



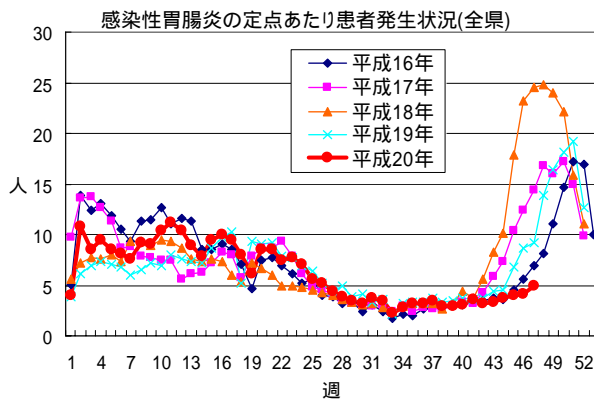
#### RSウイルス感染症

報告数がわずかに減少しましたが、例年よりも立ち上がり早く、報告数が多くなっています。



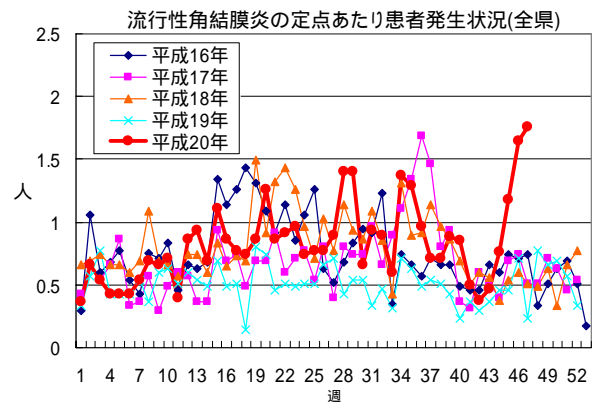
## 感染性胃腸炎

今シーズンは流行の立ち上がりがゆるやかですが、例年、これから年末にかけて患者数の増加が見られますので注意が必要です。



## 流行性角結膜炎

報告数の増加が続いており、今週は今年最も多い報告数となりました。患者の約半数が女性の50歳代と60歳代で、地域的には尼崎市の報告数が多くなっています。



### 定点あたり患者数の上位10位の疾病

順位	疾病名	定点あたり患者数		増減	順位	疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	4.87	4.19	+0.68	6位	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	1.05	0.94	+0.11
2位	流行性角結膜炎	1.76	1.65	+0.11	7位	手足口病	0.57	0.69	-0.12
3位	インフルエンザ	1.51	0.61	+0.90	8位	突発性発しん	0.49	0.57	-0.08
4位	水痘	1.19	1.33	-0.14	9位	咽頭結膜熱	0.24	0.14	+0.10
5位	RSウイルス感染症	1.06	1.09	-0.03	10位	流行性耳下腺炎	0.21	0.32	-0.11

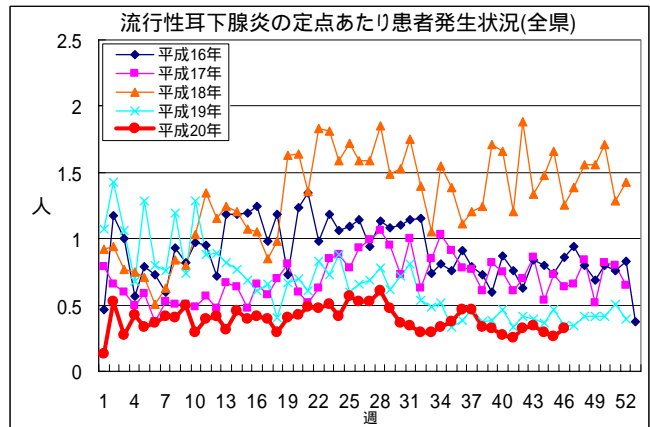
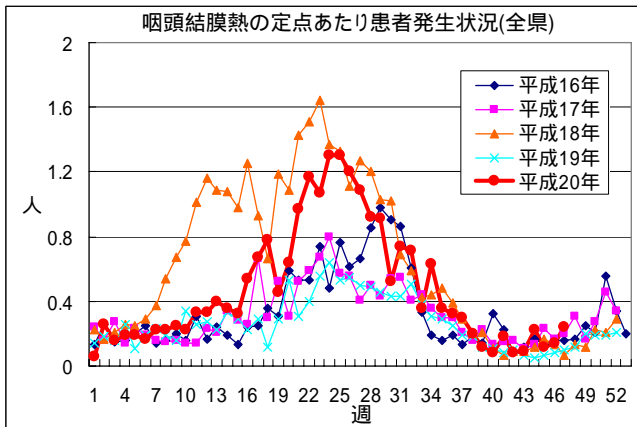
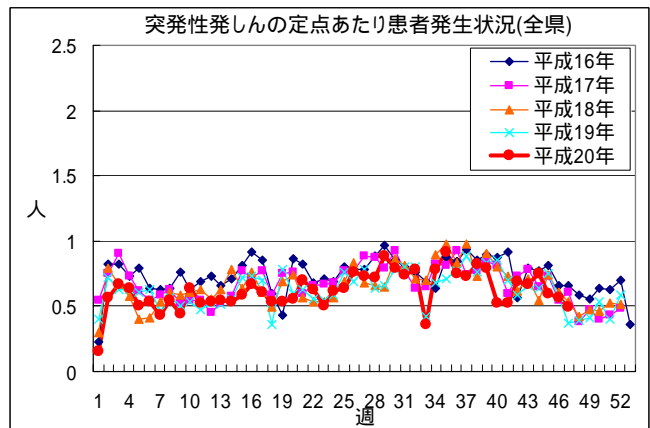
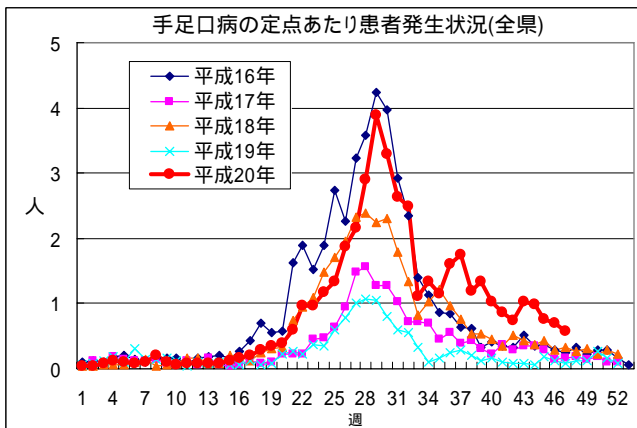
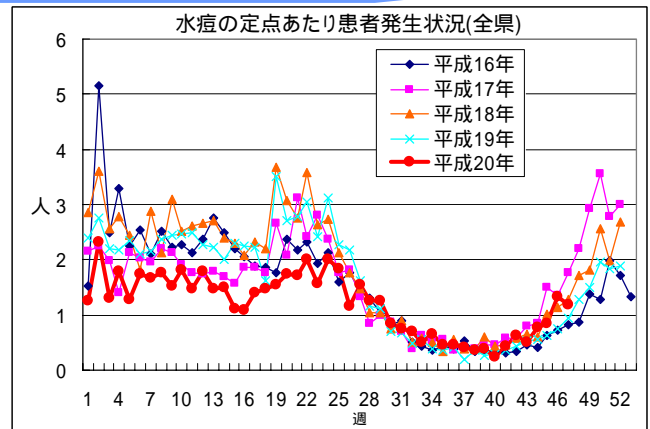
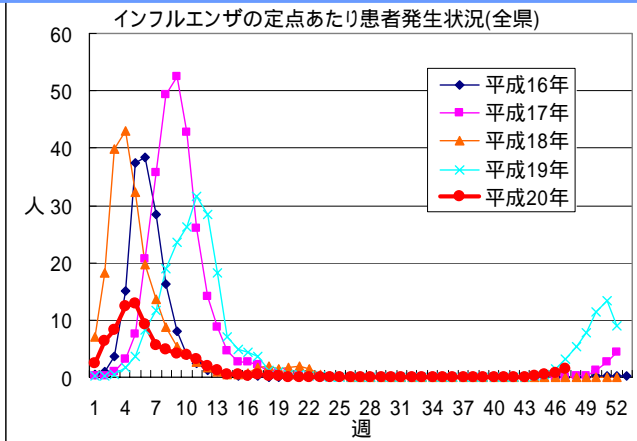
### 全数把握感染症(すべての医療機関から報告を求める感染症です)

1類感染症	報告はありません。
2類感染症	<b>結核 15名</b> (神戸市6名、尼崎市3名、姫路市1名、伊丹保健所管内2名、宝塚保健所管内1名、明石保健所管内1名、加古川保健所管内1名)
3類感染症	報告はありません。
4類感染症	<b>つつが虫病 1名</b> (和田山保健所管内)
5類感染症	<b>アメーバ赤痢 1名</b> (尼崎市)
	<b>ウイルス性肝炎(古典型) 1名</b> (加古川保健所管内; B型)
	<b>麻しん 1名</b> (神戸市; 27歳/男/検査診断/ワクチン接種歴1回有り, 2回なし)
追加報告	<b>結核 12名</b> (尼崎市2名; 第43週, 第45週、宝塚保健所管内3名; 第46週3名、社保健所管内2名; 第45週, 第46週、洲本保健所管内5名; 第41週, 第42週, 第44週, 第45週, 第46週)

### 検査情報(兵庫県立健康環境科学研究所)

尼崎市内の医療機関を受診した1歳2か月の男児から**インフルエンザウイルスB型(ビクトリア系統)**が分離されました。

## 目で見える動向（県内）



この週報は兵庫県立健康環境科学研究所ホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報(IDWR)がダウンロードできます。